

大和川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会 第4回 協議会

日時：平成30年7月30日（月）14時00分～15時30分
場所：柏原市立市民プラザ 6階大会議室
（ＪＲ柏原駅西口 アゼリア柏原）

次 第

1 挨拶

2 議事

報告事項

- （１）幹事会の報告
- （２）H29年度実施内容及びH30年度取組予定
- （３）今後の減災協議会の開催スケジュール（予定）

3 話題提供

- ・雨量分布の予報を15時間先まで延長について
（大阪管区气象台）

4 その他

5 閉会

大和川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会

第4回 協議会

配付資料リスト

次第

出席者名簿

配席図

資料1－1 幹事会の報告について

資料1－2 H29年度実施内容及びH30年度取組予定

資料1－3 今後の減災協議会の開催スケジュール（予定）

資料2 雨量分布の予報を15時間先まで延長について

その他

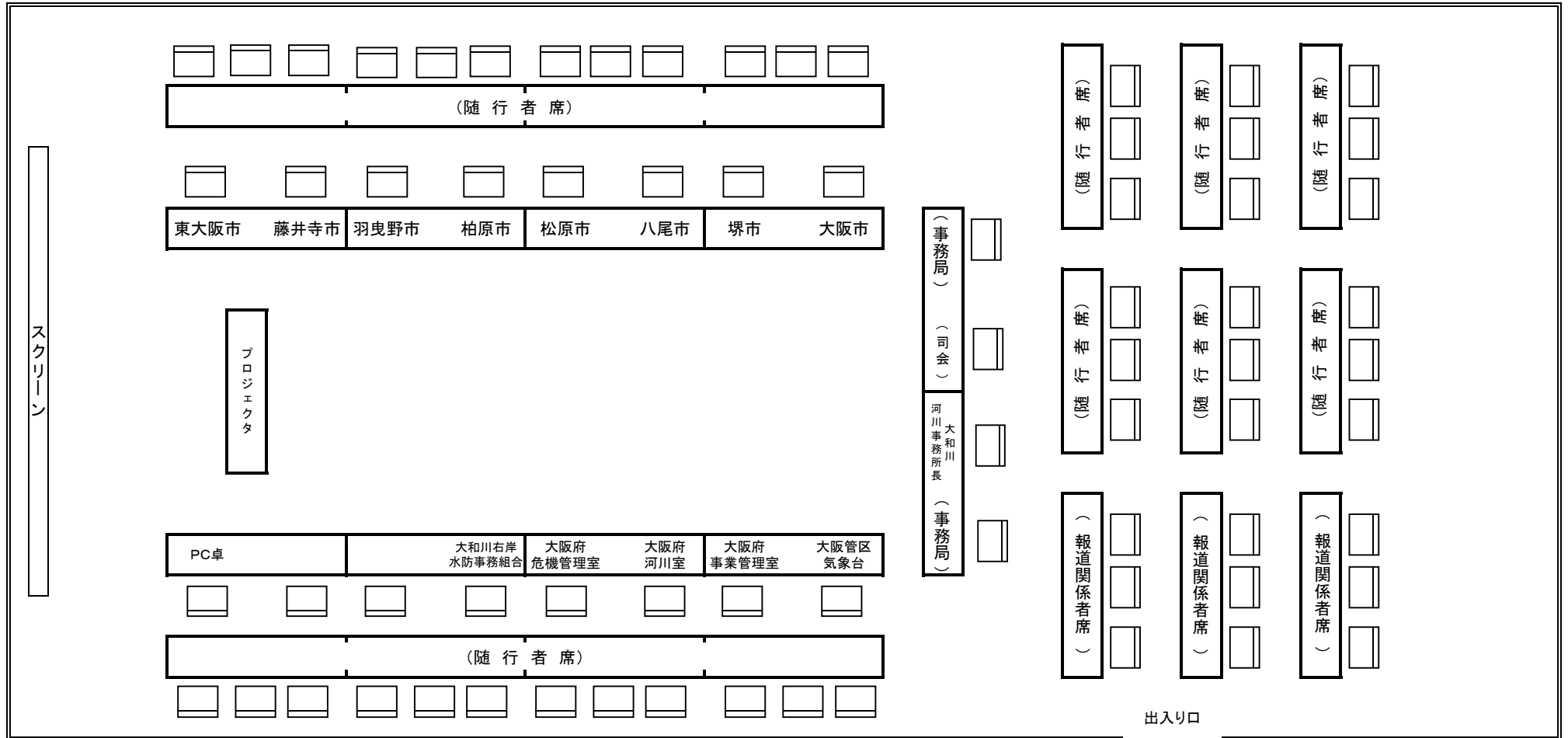
第4回 大和川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会

出席者名簿

大阪市長	吉村 洋文	(代理) 危機管理監	藤原 正樹
堺市長	竹山 修身	(代理) 危機管理室 室長	岡本 康成
八尾市長	田中 誠太		
松原市長	澤井 宏文	(代理) 副理事 兼 危機管理課長	吉岡 秀雄
柏原市長	富宅 正浩		
羽曳野市長	北川 嗣雄	(代理) 市長公室危機管理室 室長	阪口 幸雄
藤井寺市長	國下 和男	(代理) 副市長 兼 危機管理監	松浦 信孝
東大阪市長	野田 義和	(代理) 危機管理室 室長	早崎 順一
大和川右岸水防事務組合 事務局長	山下 克巳		
大阪府都市整備部 事業管理室長	谷口 友英	(代理) 事業企画課 課長	松倉 昌明
大阪府都市整備部 河川室長	武井 義孝		
大阪府政策企画部 危機管理室長	佐藤 広章		
気象庁 大阪管区气象台長	土井 恵治	(代理) 気象防災部 部長	小出 寛
近畿地方整備局 大和川河川事務所長	大呑 智正		

第4回 大和川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会 配席図

平成30年7月30日(月) 14:00～
 柏原市立市民プラザ 6階 大会議室



幹事会の報告について

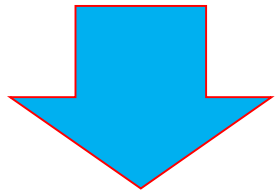
○第 4 回 幹事会 平成 3 0 年 6 月 2 6 日（火）

第 4 回協議会に諮る資料の内容確認

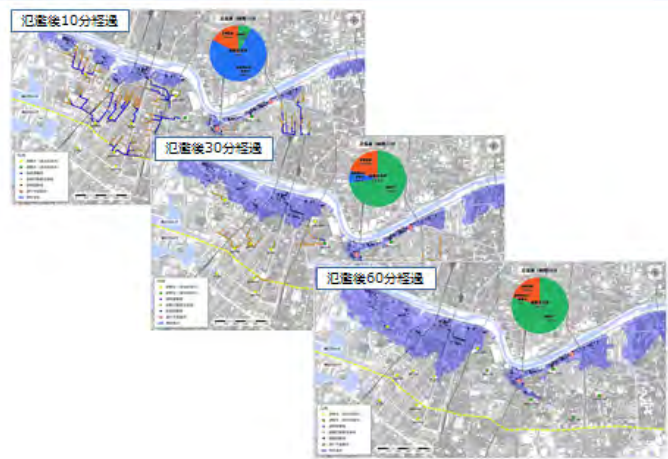
1. 協議会の進捗状況の見える化（案）
2. H 2 9 年度実施内容及び H 3 0 年度取組予定（案）
3. 今後の減災協議会の開催スケジュール（案）

H 2 9 年度実施内容及び H 3 0 年度取組予定

●減災に係る取組の事例

取組機関名	大阪市
具体的取組	避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・更新・活用に関する事項
主な内容	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・更新 ・タイムラインに基づく訓練の実施
概要	■職員参集に着目したタイムラインの作成 ○経緯：平成29年10月の台風第21号時に大和川の水位上昇に伴い、避難勧告等を発令したが、避難所開設（避難場所開放）が遅れた。 ○課題：避難所開設の準備等に必要な時間がいまいであった。  ◆対応：避難勧告等の発令およびそれに伴う職員参集（動員体制）に着目した <u>庁内用タイムライン</u>の作成  ■河川氾濫を想定した訓練 ・河川氾濫を想定したシミュレーション訓練を行い、水害時の初動、参集状況の確認等を動員計画とともに検証する。 （平成30年度実施予定）

●減災に係る取組の事例

取組機関名	堺市
具体的取組	大和川河川氾濫リスクの周知と住民の避難行動の促進
主な内容	避難シミュレーションの実施、住民とのリスクコミュニケーションの実施、多機関連携型タイムラインの検討
概要	大和川の浸水想定区域の人口は約12万人であり、地域によっては、浸水深が深いこと、家屋倒壊等氾濫想定区域があること、氾濫流到達時間が短いことなどから避難行動に課題がある。 堺市では、検討会議（参加者：防災関係の学識者、大和川河川事務所など関係機関）での意見を踏まえ、避難シミュレーションを実施し、避難行動への課題や問題点を検証し、住民の適正な避難行動を促すための取組を行っている。 【大和川避難対象区域】  避難シミュレーション動画  ■会議風景  【住民とのリスクコミュニケーションの実施】 ○共有すべき情報 ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図（浸水深、家屋倒壊等浸水想定区域、浸水継続時間等） ・大和川洪水避難シミュレーション結果（避難する方向、危険なエリア等） ・平成29年台風21号における避難状況 ・気象情報、避難情報等の確実な入手方法 ・災害毎の適切な避難行動（河川氾濫、津波、高潮、地震等） 【多機関連携型タイムラインの検討開始】 ○視点：住民への避難呼びかけ、被害通報等への対応 ○台風21号時の状況振り返り ・降雨状況、河川水位状況、避難情報発令状況の整理 ・指定避難場所への避難者数の整理 ・庁内各部局の各時刻における体制及び活動の整理 ・全ての区役所と消防署、警察署とのワークショップの実施 →庁内部局・庁外部局と顔の見える関係の構築による連携強化 →庁内部局間、堺市版多機関連携型タイムラインの整理＝災害対応の強化

●減災に係る取組の事例 八尾市

取組機関名	八尾市、国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所、大和川右岸水防事務組合、八尾警察署、大阪府八尾土木事務所、大正小学校区まちづくり協議会、大正北小学校区まちづくり協議会、大正北地区自治振興委員会、大正南地区自治振興委員会、八尾市赤十字奉仕団婦人部 等
具体的取組	水害発生危険がある状況下における地域住民の避難行動訓練及び早期避難の重要性の啓発を目的とする。
主な内容	住民による避難訓練、水防訓練、体験ブース(水中歩行体験、水没ドア開閉体験、集中豪雨体験 等)
概要	日時:平成30年8月26日(日)10:00~12:00 場所:八尾市立大正コミュニティセンター及び若林第2公園 概要:水害発生危険がある状況下における地域住民の避難行動訓練及び早期避難の重要性の啓発を目的とする。 表 A4 裏 A4
	リーフレット表面 リーフレット裏面

●減災に係る取組の事例

取組機関名	松原市
具体的取組	町会との連絡網構築
主な内容	災害発生時等に情報伝達を行うため町会との連絡網を構築
概要	【概要】 避難勧告等発令時前に市から町会長に連絡し、各町会内に連絡を下してもらい、去年の台風21号の際には連絡がつかないケースもあったため、各町会ごとに第3順位まで連絡先を提出していただいた。

●減災に係る取組の事例 柏原市

取組機関名	柏原市、大和川右岸水防事務組合、柏原羽曳野藤井寺消防組合
具体的取組	水防活動の強化に関する事項
主な内容	関係機関が連携した実働水防訓練の実施
概要	・日時:平成30年2月25日(日) 9:00～11:30 ・対象者:柏原市消防団員 ・場所:柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部 ・概要:柏原市は、大和川右岸水防事務組合、柏原羽曳野藤井寺消防組合の協力のもと、 柏原市消防団員を対象とした水防工法訓練および放水訓練を実施しました。
	 土のう作り  高所放水訓練

●減災に係る取組の事例

取組機関名	羽曳野市
具体的取組	ハザードマップの作成・周知等に関する事項
主な内容	要配慮者利用施設の避難計画作成の促進および避難訓練の促進支援
概要	①水防法等に基づく避難確保計画作成等に係る対象施設管理者説明会の実施 開催日時:平成30年5月11日(金)14時から 対象施設:羽曳野市地域防災計画(平成30年4月修正)において定めた浸水想定区域等に位置する要配慮者施設(40施設) 当日出席:27施設32名 ②「避難確保計画作成の手引き」及び「避難確保計画参考様式」の作成及び市ウェブサイトへの掲載 ③避難確保計画作成及び避難訓練実施方法に関する施設からの相談への対応・助言等説明会後のフォロー体制の確保

●減災に係る取組の事例

取組機関名	藤井寺市
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項
主な内容	水災害意識啓発の広報
概要	○広報ふじいでら（平成30年5月号）による防災特集 平成29年台風第21号を踏まえ、市が抱える災害リスク、避難に関する情報など、防災に関する情報を正しく確実に入手していただくため、広報ふじいでら（平成30年5月号）に「防災特集」として記事を掲載。  つどいつながら 青つまち 2018年 (平成30年) 5月号 特集 防災情報を確実に入手しよう① 5月号「消費者月間」です②③ 5月号「消費者月間」です④⑤ 5月号「消費者月間」です⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ ▼特集記事 

●減災に係る取組の事例

取組機関名	東大阪市
具体的取組	その他減災に係る取組
主な内容	寝屋川流域における大規模水害タイムライン(多機関連携型)
概要	平成29年7月、大阪府に事務局を置く寝屋川流域協議会に近畿地方整備局、大阪府、流域市11市及びライフライン機関、公共交通機関等で構成される大規模水害タイムライン策定部会が発足された。 当策定部会で、平成29年10月の台風第21号の事例を基に、被害を軽減するための防災行動の抽出・タイミングの確認を行った。 また本市は大規模水害タイムラインの外水のモデル市となり、平成30年4月に、東海豪雨級の降雨を想定し、市各部局の防災行動を気象注警報や水位情報などの時間軸に落とし込みを行った。 平成30年7月に、大規模水害タイムライン策定部会で最終調整を行い、その後寝屋川流域協議会でタイムラインを完成させ、図上訓練も併せて実施する予定としている。 会議の様子① 会議の様子②

●減災に係る取組の事例

大和川右岸水防事務組合

取組機関名	住吉消防署、平野消防署、東住吉消防署、住之江消防署、大和川右岸水防事務組合
具体的取組	関係機関が連携した実働水防訓練の実施(水防資材の点検管理含む)
主な内容	土のう造り、水防工法実施(積み土のう工、改良越水止めネット工)の指導
概要	・日 時： 6月11日(月) 10:30～12:00 ・参加機関： 住吉消防署、平野消防署、東住吉消防署、住之江消防署、大和川右岸水防事務組合 ・場 所： 大和川左岸河川敷(堺市堺区遠里小野町地先) ・概 要： 大阪市住吉消防署より要請があり、当組合の啓発活動と位置づけ、水防団員による関係機関従事者への水防工法実技訓練の技術指導の実施致しました。
	 四消防署従事者による水防訓練の様様
	 水防団員による土のう造り・水防工法の説明
	 従事者による土のう造り・水防工法実技の実

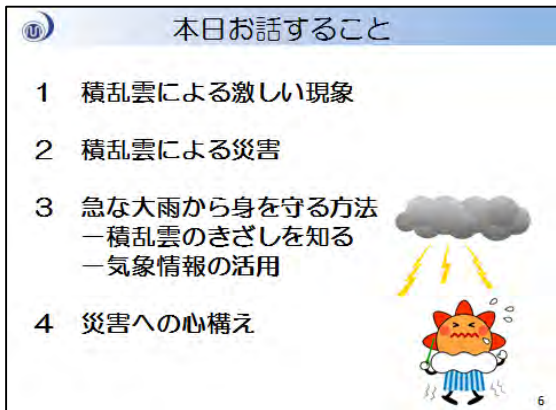
●減災に係る取組の事例 大和川右岸水防事務組合

取組機関名	大阪市港湾局、大阪府西大阪治水事務所、住之江区役所、住之江消防署、住之江警察署、西成区役所、西成消防署、西成警察署、大阪市建設局、鉄扉利用者、大和川右岸水防事務組合
具体的取組	関係機関が連携した実働水防訓練の実施(水防資材の点検管理含む)
主な内容	水樋鉄扉の開閉操作と無線通信並びに避難訓練
概要	・日 時：6月6日(水) 13:45～、6月7日(木) 9:45～ ・参加機関：大阪市港湾局、大阪府西大阪治水事務所、住之江区役所、住之江消防署、住之江警察署、西成区役所、西成消防署、西成警察署、大阪市建設局、鉄扉利用者、大和川右岸水防事務組合 ・場 所：平林貯木場水門3号、水門5号、2号鉄扉、4号鉄扉、6号鉄扉、9号鉄扉、10号鉄扉、25号鉄扉、28号鉄扉、29号鉄扉 ・概 要：津波の来襲を想定し、津波警報発令より水防団員による水樋門閉塞後、避難所への退避訓練及び無線訓練 津波警報(訓練)を受け、水門に参集する水防 水門閉塞操作 各関係機関への無線交信訓練 水門閉塞の様様

●減災に係る取組の事例 大和川右岸水防事務組合

取組機関名	大阪市建設局、大和川右岸水防事務組合
具体的取組	関係機関が連携した実働水防訓練の実施(水防資材の点検管理含む)
主な内容	土のう造り、水防工法実施(月の輪工)の指導
概要	・日 時：5月25日(金) 14:00～16:30 ・参加機関：大阪市建設局 河川課、大和川右岸水防事務組合 ・場 所：大阪市東住吉区矢田5丁目5番 行基大橋高架下 ・概 要： 大阪市建設局河川課より要請があり、当組合の啓発活動と位置づけ、水防団員による関係機関従事者への水防工法実技訓練の技術指導の実施致しました。
	 水防団員による規律動作
	 水防団員による土のう造り実技講習
	 水防団員による水防工法の講習
	 建設局河川課職員による水防工法の実技①
	 建設局河川課職員による水防工法の実技
	 工法(月の輪工)の説明及び成果物の確認

●減災に係る取組の事例

取組機関名	大阪管区気象台
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項
主な内容	小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施
概要	■平成29年 6月13日 大阪狭山市立西小学校防災授業 ■平成29年 7月 4日 千早赤阪村立千早小吹台小学校防災授業 ■平成29年 7月10日 豊中市立第四中学校防災授業 ■平成29年10月13日 大阪市立聖和小学校防災授業 ■平成29年10月20日 阪南市立舞小学校防災授業 など
	 学校の先生による防災授業の例 (気象台職員が事前に学校の先生へ防災授業の レクチャーをし、当日は先生から説明を行う)
	 防災授業で使用するDVD教材の例
	 気象台職員による防災授業の例
	 防災授業で使用する説明用PPTの例

●減災に係る取組の事例

取組機関名	大阪管区気象台																																																												
具体的取組	防災気象情報の改善に関する事項																																																												
主な内容	5日先までの「警報級の可能性」の提供開始																																																												
概要	5日先までに警報級の現象が予想される場合に その可能性を「高」又は「中」でお知らせするもの 大阪府の警報級の可能 大阪府では、4日までの期間内に、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。 また 4日明け方までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。 今日～明日 ・天気予報と合わせて発表 ・時間帯を区切って表示 明後日～5日先 ・週間天気予報と合わせて発表 ・日単位で表示 <table><tr><th colspan="2">大阪府</th><th colspan="8">警報級の可能性</th></tr><tr><th rowspan="3">種別</th><th colspan="2">3日</th><th colspan="3">4日</th><th rowspan="3">5日</th><th rowspan="3">6日</th><th rowspan="3">7日</th><th rowspan="3">8日</th></tr><tr><th colspan="2">明け方まで</th><th colspan="3">朝～夜遅く</th></tr><tr><th>18-24</th><th>0-6</th><th>6-12</th><th>12-18</th><th>18-24</th></tr><tr><td>大雨</td><td colspan="2">中</td><td colspan="3">—</td><td>—</td><td>—</td><td>中</td><td>—</td></tr><tr><td>暴風</td><td colspan="2">—</td><td colspan="3">高</td><td>—</td><td>中</td><td>高</td><td>—</td></tr><tr><td>波浪</td><td colspan="2">—</td><td colspan="3">高</td><td>—</td><td>中</td><td>高</td><td>—</td></tr></table> [高] 警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。 [中]:[高]ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性は[中]とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。 今日～明日 前日の夕方の段階で、必ずしも可能性は高くないものの、夜間～翌日早朝までの間に警報級の大雨となる可能性もあることが分かる！ 明後日～5日先 数日先の荒天について可能性を把握することができる！	大阪府		警報級の可能性								種別	3日		4日			5日	6日	7日	8日	明け方まで		朝～夜遅く			18-24	0-6	6-12	12-18	18-24	大雨	中		—			—	—	中	—	暴風	—		高			—	中	高	—	波浪	—		高			—	中	高	—
	大阪府		警報級の可能性																																																										
	種別	3日		4日			5日	6日	7日	8日																																																			
		明け方まで		朝～夜遅く																																																									
		18-24	0-6	6-12	12-18	18-24																																																							
大雨	中		—			—	—	中	—																																																				
暴風	—		高			—	中	高	—																																																				
波浪	—		高			—	中	高	—																																																				

●減災に係る取組の事例

取組機関名	大阪管区気象台
具体的取組	防災気象情報の改善に関する事項
主な内容	警報・注意報の「危険度を色分けした時系列」の提供開始

概要

平成●●年10月22日09時28分 大阪管区気象台発表

大阪府の注意警戒事
大阪府では、23日朝まで土砂災害に警戒してください。

=====

●市 [継続]大雨警報(土砂災害) 雷, 強風, 波浪, 洪水注意報

22日夜のはじめ頃までに暴風警報に切り替える可能性が高い
22日夜のはじめ頃までに波浪警報に切り替える可能性が高い
22日夜のはじめ頃までに洪水警報に切り替える可能性が高い

文章形式から

●市 発表中の 警報・注意報等の種別		今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象
		22日					23日					
		9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	50	60	80	100	100	80	80				
	(浸水害)											浸水注意
	(土砂災害)											以後も注意報級 土砂災害警戒
洪水	(洪水害)											
強風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上 7	10	12	20	20	20	20	18			
	海上	10	16	16	30	30	30	30	20			
波浪	波高 (メートル)	1	1	2.5	3	4	4	3	2.5	2		以後も注意報級 うねり
雷												竜巻、ひょう

図表形式へ

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。
■で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。
各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。

※図表形式の時系列表示にすることで

今後の危険度の高まりを即座に
把握できる

●減災に係る取組の事例

取組機関名	大阪管区気象台																														
具体的取組	防災気象情報の改善に関する事項																														
主な内容	警報・注意報を補足する「危険度分布」の提供開始																														
概要	大雨警報(浸水害)の危険度分布 2017年10月22日22時00分 1時間先 までの予測 大雨警報(浸水害)の危険度分布 <table border="1"> <tr><td>高</td><td>極めて危険</td></tr> <tr><td>危険度</td><td>非常に危険</td></tr> <tr><td>低</td><td>警戒</td></tr> <tr><td></td><td>注意</td></tr> <tr><td></td><td>今後の情報等に留意</td></tr> </table> 洪水警報の危険度分布 2017年10月22日22時00分 3時間先 までの予測 洪水警報の危険度分布 <table border="1"> <tr><td>高</td><td>極めて危険</td></tr> <tr><td>危険度</td><td>非常に危険</td></tr> <tr><td>低</td><td>警戒</td></tr> <tr><td></td><td>注意</td></tr> <tr><td></td><td>今後の情報等に留意</td></tr> </table> 土砂災害警戒判定メッシュ情報 2017年10月22日22時00分 2時間先 までの予測 大雨警報(土砂災害)の危険度分布 <table border="1"> <tr><td>高</td><td>極めて危険</td></tr> <tr><td>危険度</td><td>非常に危険</td></tr> <tr><td>低</td><td>警戒</td></tr> <tr><td></td><td>注意</td></tr> <tr><td></td><td>今後の情報等に留意</td></tr> </table> ■危険度分布では、土砂災害・浸水害・洪水害の危険度が高まっている場所が分かる。 ■内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」でも、避難判断への活用が推奨されている。 濃い紫色は災害がすでに発生していてもおかしくない危険な状況！	高	極めて危険	危険度	非常に危険	低	警戒		注意		今後の情報等に留意	高	極めて危険	危険度	非常に危険	低	警戒		注意		今後の情報等に留意	高	極めて危険	危険度	非常に危険	低	警戒		注意		今後の情報等に留意
高	極めて危険																														
危険度	非常に危険																														
低	警戒																														
	注意																														
	今後の情報等に留意																														
高	極めて危険																														
危険度	非常に危険																														
低	警戒																														
	注意																														
	今後の情報等に留意																														
高	極めて危険																														
危険度	非常に危険																														
低	警戒																														
	注意																														
	今後の情報等に留意																														

●減災に係る取組の事例

大和川河川事務所

取組機関名	大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、藤井寺市 大阪府、大阪管区气象台、近畿地整(大和川河川事務所)
具体的取組	水防活動支援のための情報公開、情報共有に関する事項
主な内容	重要水防箇所の情報共有と関係市町等との共同点検の実施
概要	・日時・巡視参加機関： 1月24日(水) 柏原市、松原市、藤井寺市、八尾市、大阪府、大阪管区气象台 1月25日(木) 大阪市、松原市、堺市、大和川右岸水防事務組合、大阪管区气象台 ・場所：大和川上流（大阪府域） ・概要：大和川において迅速かつ的確な水防活動に資するために、大和川沿川自治体・大和川河川事務所が合同で、川の水が溢れる、漏水等の危険が予想される箇所や工事箇所の対策内容・備蓄資材の状況等を巡視しました。重要水防箇所評定基準の見方、洪水時の注意点を踏まえて、現地の状況を確認しました。
	 柏原市上市地先
	 藤井寺市船橋町地先
	 八尾市若林町地先
	 松原市天美北地先(天美水防倉庫)
	 大阪市住吉区遠里小野地先
	 堺市堺区浅香山町地先

●減災に係る取組の事例

大和川河川事務所

取組機関名	大阪市、堺市、八尾市、柏原市、近畿地整(大和川河川事務所)
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項
主な内容	小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施
概要	平成29年度 今年も出前講座を実施しました！ 大和川河川事務所では、大和川のことを多くの子どもたちに知ってもらうために若手職員による「出前講座」(CDST:Class Delivery Service Team)を行っています。 出前講座では、大和川の概要をはじめ、歴史(付け替え)や防災(治水・減災)、環境分野では水質、生きものやゴミ問題などについてお話をし、水の汚れを調べる簡単な実験もしてもらっています。聞くだけでなく、一緒に考えてもらう参加型の講座です。 平成29年度の出前講座 私たちの出前講座は、大和川や川そのものについて楽しく学んでもらえるような授業を行っています。 本年度は12回の開催がありました。 平成30年度はもっとたくさんの小学校に出向いて講座をしたいと考えています！ 内容や時間はご希望に応じます。  参加型の講座の様子 今年度、話を聞いてくれた皆さん ■ 6月大阪市立敷津浦小学校 4年生 ■ 7月柏原市立堅下南小学校 4年生 ■ 9月堺市立浅香山小学校 4年生 ■ 10月富田林市立東条小学校・王寺町立王寺小学校 4年生 ■ 11月大阪市立瓜破小学校・八尾市立西山本小学校・和泉市立信太小学校 4年生 ■ 12月岸和田市立修斉小学校・岸和田市立旭小学校・堺市立大仙西小学校 4年生 ■ 2月大阪市立阪南小学校 4年生 全12校  実験の様子 CDSTを受講した担任の先生より ・今後の授業に少しでも活かしていきたいと思います。 ・大和川クイズや実験が楽しかったみたいです。 生徒のアンケートより 防災については、少し難しかったかな？ CDSTより 平成30年度も積極的に出前講座を行います！ 平成29年度では新たに防災の話を追加しましたが、今後は更なる資料の改善と、新たな話を追加する予定です！また、講座後に質問時間も設けますので、子供たちの川に関する疑問にもお答えします。 今後ともどうぞよろしくお願いします！  みんなの小学校にも行くよ！

●減災に係る取組の事例 大和川河川事務所

取組機関名	大阪市、近畿地整(大和川河川事務所)
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項
主な内容	水災害意識啓発の広報
概要	平成30年2月18日(日) 天気 晴れ 「東住吉区防災フェスタ」へ出展しました！ イベントの概要 日時: 平成30年2月18日(日)13:00～16:00 場所: 東住吉区民ホール(東住吉区役所3階) 内容: 防火・防災図画展、防災関係機関啓発コーナー、体験コーナーなど ブース展示の様子 ○展示内容:「家庭でできる浸水対策」、「洪水から命を守るための対策」、「川の防災情報」を紹介した資料を展示し、来場された方に説明を行いました。  ○来場された方たちは、熱心に展示パネルをご覧になるなど、防災に対する意識の高さを感じられました。   ○近年の大規模出水を受けて、自分の会社がどの程度浸水するのかを気にされる方もいらっしゃいました。 当日頂いた意見など ○避難所と避難場所の違いはなんですか？ ⇒どちらも災害が起こりそうなときに避難できる場所ですが、避難所は災害によって家などを失った人などが一時的に生活できる場所、避難場所は一時的に避難する場所という違いがあります。 ○いざ洪水が発生した際に、こういった行動をとればいいのか？ ⇒あらかじめ、自宅などがどの程度浸水するかをハザードマップで確認し、避難する場所・安全な経路などを決めておく事が大事です。 また、すでに水が膝の高さなど、歩行が困難な深さまで浸水している場合は、無理に水平避難せず、上階に垂直避難するなどして身を守ることも大切です。 その他の展示の様子 避難所体験として、プライベートテント・簡易トイレの展示や、簡易担架体験などを実施していました。また、防災ミッションラリーにはたくさんの方が積極的に参加していました。  

●減災に係る取組の事例

大和川河川事務所

取組機関名	松原市、近畿地整(大和川河川事務所)
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項
主な内容	水災害意識啓発の広報
概要	○ 日 時：平成29年12月14日 (木) 19:00～20:00 ○ 対象者：天美北地区 約30名 ○ 会 場：松原市天美北地区公民館 大阪府松原市天美北3丁目
	出前講座の様子  内 容 ○ 平成29年10月の台風21号と前線による大和川における大雨の概要について ○ 大和川流域の概要 ○ 大和川の治水の考え方 ○ 洪水を治める対策 ○ 大規模氾濫に関する減災対策 ○ 洪水時の避難行動 ○ トピックス（大和川の水環境）

●減災に係る取組の事例

大和川河川事務所

取組機関名	柏原市、近畿地整(大和川河川事務所)	
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項	
主な内容	水災害意識啓発の広報	
概要	◎ 日 時：平成30年1月16日（水） 18：00～19：50 ○ 会 場：柏原市立健康福祉センター 柏原市大県4丁目15－35 ◎ 日 時：平成30年1月17日（木） 18：00～19：50 ○ 会 場：国分合同会館 柏原市国分本町2丁目7－2 ● 対象者：18歳以上の柏原市在住・在勤・在学の方で、災害時にボランティア活動が出来る方、または関心のある方	出前講座の様子    
	講座の内容 災害ボランティア講座 ○「柏原市における災害への備え」 ・大和川流域の概要 ・台風21号と前線による大雨の概要 ・洪水時の避難行動 ○「災害ボランティア活動報告」 ○「要援護者支援ボランティアとしてここがけること」	

●減災に係る取組の事例 大和川河川事務所

取組機関名	松原市、近畿地整(大和川河川事務所)
具体的取組	水防活動の強化に関する事項
主な内容	防災訓練への参加
概要	日時:平成29年9月10日(日) 平成29年度奈良県防災総合訓練 日時:平成29年11月12日(日) 平成29年度富田林市総合防災訓練 日時:平成30年2月25日(日) 平成29年度太子町総合防災訓練 日時:平成30年3月11日(日) 平成29年度松原市防災総合訓練 松原市の訓練(例) 平成30年3月11日(日)に平成29年度松原市防災総合訓練(地震発災)が開催されました。この防災訓練は、地震発生を想定した、シェイクアウト訓練(命を守る3つの安全行動)、医療機関によるトリアージ訓練(傷病者を緊急度や重傷度に応じ4段階に分類)、市内2事業所による屋内消火栓操法訓練、水道管復旧・応急給水訓練や炊出訓練が行なわれました。大和川河川事務所からは、夜間における水害現場の応急復旧作業や監視等の照明として使用する照明車の車両紹介・TEC-FORCE活動紹介をしました。訓練には、一般来場者合わせて約1,800名が参加しました。   照明車紹介・TEC-FORCE活動紹介   医療機関連携訓練(トリアージ訓練)     医療機関連携訓練(トリアージ訓練)     煙体験ハウス・土のう作成体験・高所作業車のバケット搭乗体験・初期消火体験     炊き出し訓練・レスキューチャレンジ・給水袋体験

<参考>

●減災に係る取組の事例 <奈良県域>

大和川河川事務所

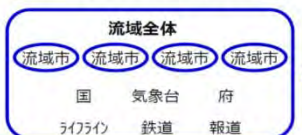
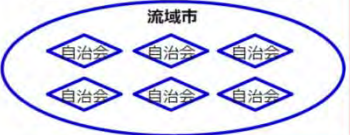
取組機関名	近畿地整(大和川河川事務所)
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項
主な内容	小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施
概要	・日時：平成29年11月14日（火） 13時55分～14時40分（45分） ・場所：王寺町立王寺北小学校 ・対象：小学5年生 ・概要：○自然災害から子供たちが自分自身を守り、お互いに助け合っていける力を育むためには、幼少期からの防災教育が重要です。文部科学省と国土交通省は協力して防災教育の充実に向けた取り組みを強化していくこととしています。 ○学習指導要領改訂に伴い、平成32年度から小学校で防災教育が全面実施されることとなり、教育委員会、学校等と連携・協力した防災教育の取り組み強化の一環として『災害から身を守る』をテーマとした講義を実施しました。 講義内容 ・○×クイズを用いた防災クイズ ・より災害に対する理解を深めてもらえるようにS57の王寺町での大災害の紹介 ・自分自身で、状況に合わせた「身を守る」行動を考え、子供たちで意見交換をする事で理解を深めるワークシートの活用。   ○×クイズ 防災に関する学習教材 防災教育の講義で用いた教材  ワークシート(意見交換)    講義の様子(○×クイズ) S.57 王寺町での大災害の様子 ワークシートにとりまとめ 先生の感想 ・1人で考えるより、グループで意見を交換し合う時間があったのが良かった。 ・今後授業をするにあたって、災害に対する準備や心構えの書かれた教材が欲しい。 生徒の感想 ・ただ避難するだけではなく、状況に合わせた避難が必要だと思いました。 ・早めの避難は大事だけど、自分で判断して避難することも大切だとわかりました。

●減災に係る取組の事例

大和川河川事務所

取組機関名	大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、東大阪市、大和川右岸水防事務組合、大阪府、気象庁大阪管区气象台、大和川河川事務所
具体的取組	広域避難の必要性
主な内容	想定最大規模の降雨を対象とした避難計画の考え方(案)の説明
概要	・日時：平成30年6月26日（火） 14時00分～16時00分 ・場所：大和川河川事務所 ・対象：第4回下流部幹事会 参加者 ・概要：想定最大規模の降雨を対象とした大和川流域の関係市町の洪水避難計画の作成を支援するために、国交省が検討手順をとりまとめた「大和川の特性を踏まえた避難計画作成の手引き（案）」を参考に、関係市町で議論していく必要があることを説明した。説明の趣旨は以下の通りである。 ①想定最大規模の降雨を対象とした避難計画の考え方を確認する。 ②各市町で検討が進められている避難計画の考え方（収容人数や避難者数の算出方法等）や検討結果、避難支援方策の状況等を確認する。 ③大和川流域における「逃げ遅れゼロ」に向け、広域避難の必要性、今後の課題・問題点を関係市町で共有する。   会議の風景 大和川の特性を踏まえた避難計画作成の手引き(案) 目次 1. 手引き(案)の目的等.....1 1.1. 本手引き(案)の目的.....1 1.2. 本手引き(案)の目標.....1 1.3. 本手引き(案)の利用者.....1 1.4. 本手引き(案)における前提条件.....1 1.4.1. 対象とする外力.....1 1.4.2. 対象とする河川.....1 1.4.3. 対象とする避難方法.....1 1.5. 本手引き(案)の構成.....2 2. 対象災害及び避難対象区域の設定.....3 2.1. 対象災害.....3 2.2. 避難対象区域.....3 3. 想定最大規模の降雨を対象とした避難計画の考え方.....10 3.1. 避難計画の考え方.....10 3.2. 避難計画の基本形.....11 3.3. 避難計画の検討手順.....11 3.4. 避難計画(基本形)の検討フロー.....13 4. 想定最大規模対応の避難計画作成に向けた現状整理.....14 4.1. 地域区分の設定.....14 4.2. 避難場所の収容人数の現状整理.....14 4.2.1. 地域防災計画に記載された避難場所の諸元整理.....14 4.2.2. 地区別の避難場所の安全性評価.....15 4.2.3. 避難場所の最大収容人数の算出方法.....15 4.2.4. 地区別の避難場所の最大収容人数の試算.....15 4.3. 避難者数の現状整理.....15 4.3.1. 地区別の人口・世帯数の整理.....15 4.3.2. 地区別の住居形態の整理.....15 4.3.3. 地区別の要避難者数の算出方法.....16 4.3.4. 要配慮者利用施設からの避難者数の整理.....16 4.4. 避難者数と避難場所の収容人数とのバランスの整理.....17 5. 安全な避難場所を確保するための改善策の検討.....18 5.1. 安全な避難場所を確保するための改善策の考え方.....18 5.2. 避難方法の条件の見直し.....19 5.3. 避難者1人当たりの専有面積の変更.....20 5.4. 既存施設を活用した想定最大規模対応の避難候補施設の選定.....20

●減災に係る取組の事例 大和川河川事務所

取組機関名	大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、東大阪市、大和川右岸水防事務組合、大阪府、気象庁大阪管区气象台、大和川河川事務所				
具体的取組	多機関連携型タイムライン勉強会				
主な内容	大阪府や荒川下流の事例紹介				
概要	・日時：平成30年6月26日（火） 14時00分～16時00分 ・場所：大和川河川事務所 ・対象：第4回下流部幹事会 参加者 ・概要：タイムラインを作成していくために、先行事例として①大阪府の寝屋川流域における大規模水害タイムライン、②国土省の荒川下流域を対象としたタイムライン、の紹介をおこなった。特に、タイムライン策定時における留意点として次の4つを説明した。 ①どのような水害を対象にタイムラインを作成するか ②「誰が」「何を」はどの対策で策定し共有を図るか ③「いつ」「何を」はどこまで詳述し、合意共有を図るか ④どのように活用・検証の仕組みを構築すべきか 今後、大和川流域（下流部）では希望する市をケーススタディーとして、国と市で勉強会を開催しながら、検討していく方針について確認した。 寝屋川流域における大規模水害タイムライン策定に向けた取組み 【大阪府】  大阪府では大規模な災害に対し、府民の命を守り、経済被害を最小化するため、タイムライン防災の取組みを推進しております。府内全域でこの取組みを広げていくため、まずは寝屋川流域において様々な機関と連携し、タイムラインの策定を目指しております。 【参加機関】 座長 NPO法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所 副所長 松尾 一郎氏 国土交通省近畿地方整備局、大阪管区气象台、流域市（11市）、大阪府、大阪府警察本部 NHK大阪放送局、毎日放送株式会社、朝日放送株式会社、関西テレビ放送株式会社、讀賣テレビ放送株式会社、テレビ大阪株式会社 日本電信電話株式会社、大阪ガス株式会社、関西電力株式会社 西日本旅客鉄道株式会社、京阪電気鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、大阪高速鉄道株式会社、大阪市高速電気軌道株式会社 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年7月26日 大規模水害タイムライン策定部会 発足式 大規模水害タイムライン策定部会 平成29年8月～平成30年1月 ワーキングを開催（3回）</td> <td>平成30年4月～5月 八尾市、大東市、東大阪市 をモデルに詳細検討（2回） 平成30年8月9日（予定） 寝屋川流域協議会 → 広域版（流域全体） 流域市版（3市） 完成</td> </tr> </tbody> </table> 多機関連携型タイムライン  流域全体 流域市 国 気象台 府 ライフライン 鉄道 報道 寝屋川流域では ★流域全体 ★モデル市のタイムラインが完成。 コミュニティへ拡大 モデル市以外の8市へ拡散 コミュニティタイムライン  流域市 自治会 自治会 自治会 自治会 自治会 自治会	H29	H30	平成29年7月26日 大規模水害タイムライン策定部会 発足式 大規模水害タイムライン策定部会 平成29年8月～平成30年1月 ワーキングを開催（3回）	平成30年4月～5月 八尾市、大東市、東大阪市 をモデルに詳細検討（2回） 平成30年8月9日（予定） 寝屋川流域協議会 → 広域版（流域全体） 流域市版（3市） 完成
H29	H30				
平成29年7月26日 大規模水害タイムライン策定部会 発足式 大規模水害タイムライン策定部会 平成29年8月～平成30年1月 ワーキングを開催（3回）	平成30年4月～5月 八尾市、大東市、東大阪市 をモデルに詳細検討（2回） 平成30年8月9日（予定） 寝屋川流域協議会 → 広域版（流域全体） 流域市版（3市） 完成				
	寝屋川流域における大規模水害タイムラインの事例紹介【大阪府】				

●減災に係る取組の事例

大和川河川事務所

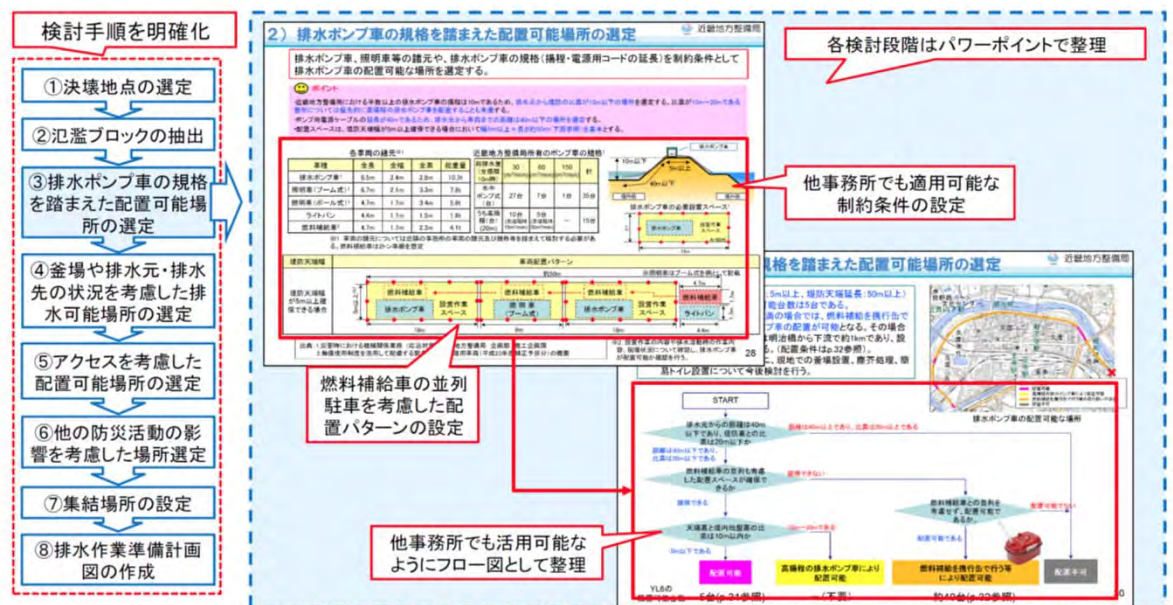
取組機関名 大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、東大阪市、大和川右岸水防事務組合、大阪府、気象庁大阪管区气象台、大和川河川事務所

具体的取組 排水ポンプ車の検討

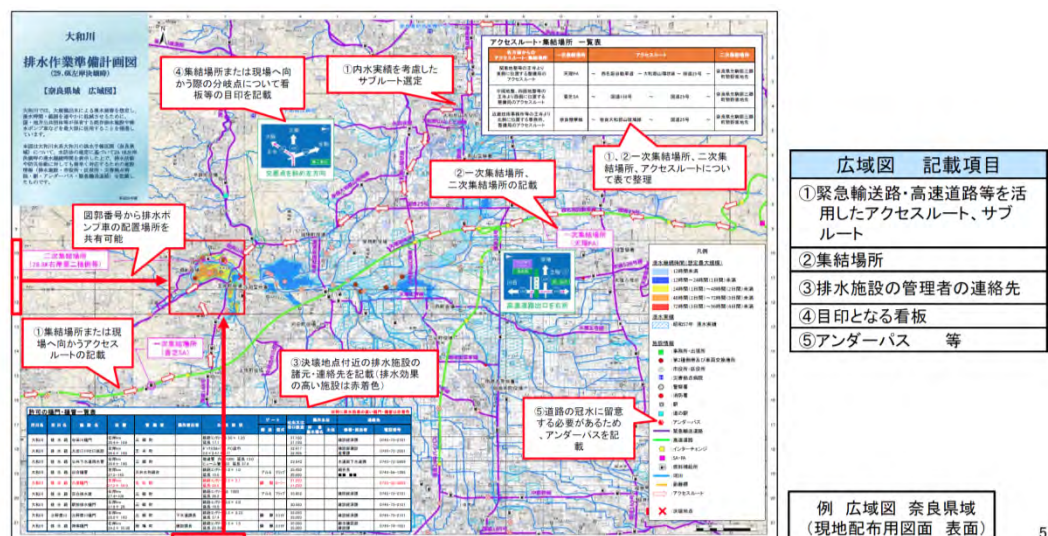
主な内容 大規模水害に対する排水作業準備計画の作成

概要

- ・日時：平成30年6月26日（火） 14時00分～16時00分
 - ・場所：大和川河川事務所
 - ・対象：第4回下流部幹事会 参加者
 - ・概要：近畿地方整備局管内で排水作業準備計画を検討するために、大和川をモデルケースとして決壊地点2箇所を対象に排水作業準備計画（標準例）を作成した。計画は他の河川にも適用可能なように、排水作業準備計画の検討手順を明確化したうえで、各検討段階の制約条件を設定し、統一的な観点で検討できるように作成した。
- 今後は、モデルケースをもとに長期にわたり浸水が継続する地域で検討し、大和川全体での排水作業準備計画を作成する予定を確認した。



検討手順の明確化



排水作業準備計画図 (広域図)

H30年度取組予定

具体的な取組の柱		主な内容	目標時期
事項			
具体的取組			
3. (回復) 氾濫による社会経済被害の軽減、早期回復を可能とする水害に強い都市の再構築のための取り組み			
■排水活動及び施設運用の強化に関する取組事項		排水に関する訓練の実施	H30年度から実施

＜ 参 考 ＞

赤字：取組の進捗状況を見える化するために、現在（H30.7）の取組済みの取組機関数を集計し、協議会立ち上げ当初（H28.8）と比較した。

概ね5年で実施する取組

氾濫が発生することを前提として、社会全体で常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築することを目的に、各参加機関が取り組む主な内容（取組項目・目標時期・取組機関）は次のとおりである。

1）洪水を河川内で安全に流す対策

主な取組項目	課題 の 整理 記号	目標時期	取組機関	協議会 立ち上 げ当初 (H28.8)	H30.7 月現在
■洪水を河川内で安全に流す対策に関する事項 ・ 遠里小野地区の堤防整備 ・ 長吉川辺地区の侵食対策 ・ 太田地区の侵食対策 ・ 国分市場地区の堤防整備	V	平成 32 年度 平成 32 年度 平成 32 年度 平成 28 年度	近畿地整	0/1 0/1 0/1 0/1	0/1 0/1 0/1 0/1

2)「1. (避難) 広範囲の浸水に対して迅速、的確かつ主体的な広域避難行動のための取り組み」

主な取組項目	課題 の 整理 記号	目標時期	取組機関	協議会 立ち上 げ当初 (H28. 8)	H30. 7 月現在
■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・更新・活用に関する事項 ・避難勧告等の発令基準の設定 ・避難勧告等の発令基準の周知 (HP での公開等)	B	引き続き実施 平成 28 年度	8 市 大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市	8/8 7/7	8/8 7/7
・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・更新 ・タイムラインの作成・更新支援	C	引き続き実施 引き続き実施	8 市 大阪府、大阪管区气象台、近畿地整	8/8 3/3	8/8 3/3
・タイムラインに基づく訓練の実施	C G I M	平成 29 年度	大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪府、大阪管区气象台、近畿地整	0/10	10/10

主な取組項目	課題 の 整理 記号	目標時期	取組機関	協議会 立ち上 げ当初 (H28. 8)	H30. 7 月現在
■ハザードマップの作成・周知等に関する事項 ・ 想定最大外力を対象とした浸水想定区域図の策定・公表（5/31 公表） ・ 想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表	A	平成 28 年度	近畿地整	1/1	1/1
		平成 28 年度	近畿地整	0/1	1/1
・ 広域避難に向けた調整及び検討	E	平成 29 年度	大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市	6/7	7/7
・ 広域避難を考慮したハザードマップへの更新・周知	D E I	平成 32 年度	大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市	0/7	0/7
・ まるごとまちごとハザードマップの整備・更新・周知（訓練への活用）	K	平成 32 年度	堺市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、近畿地整	5/7	5/7
・ 避難場所並びに避難経路の指定・更新及び周知	D	引き続き実施	8 市	8/8	8/8

主な取組項目	課題 の 整理 記号	目標時期	取組機関	協議会 立ち上 げ当初 (H28. 8)	H30. 7 月現在
・ 要配慮者利用施設の避難 計画作成の促進および避 難訓練の促進支援	G H	平成 29 年度	8 市、近畿 地整	4/9	9/9
■ 防災教育や防災知識の普 及に関する事項 ・ 小中学校や地域を対象と した水災害教育の実施	A F B H C J L	引き続き実施	8 市、大阪 府、大阪管 区气象台、 近畿地整	11/11	11/11
・ 水災害意識啓発の広報	A H B L	引き続き実施	8 市、大阪 府、大阪管 区气象台、 近畿地整	11/11	11/11
■ 避難行動のためのリアル タイム情報発信等に関す る事項 ・ 同報系防災行政無線等の 整備	F	引き続き実施	8 市	8/8	8/8
・ 避難行動の判断に必要な 河川水位に関する情報提 供（必要箇所の拡大、大和 川水位情報提供サイトの リンク貼付等）	S	引き続き実施	8 市、大和 川右岸水防 事務組合、 大阪府、近 畿地整	11/11	11/11
・ メール情報配信システム の構築、利用登録促進		引き続き実施	8 市	8/8	8/8
・ スマートフォン等を活用 したリアルタイムの情報 提供ならびにプッシュ型 情報発信のための整備	F	引き続き実施	近畿地整	0/1	1/1

主な取組項目	課題 の 整理 記号	目標時期	取組機関	協議会 立ち上 げ当初 (H28. 8)	H30. 7 月現在
・ 洪水予報文の改良と運用	C F	引き続き実施	大阪管区気 象台、近畿 地整	2/2	2/2
・ 簡易水位計、量水標、CCTV カメラの設置	S	引き続き実施	近畿地整	1/1	1/1

３）「２．（防ぐ）一秒でも長い避難時間の確保のための水防活動実現への
取り組み」

主な取組項目	課題 の 整理 記号	目標時期	取組機関	協議会 立ち上 げ当初 (H28. 8)	H30. 7 月現在
■水防活動の強化に関する 事項 ・ 水防団（消防団含む）との 情報伝達訓練の実施	O P Q	引き続き実施	大阪市、堺 市、八尾市、 松原市、柏原 市、藤井寺 市、大和川右 岸水防事務 組合、大阪 府、大阪管区 气象台、近畿 地整	10/10	10/10
・ 水防団員や消防団員・水防 協力団体の募集・指定を促 進	R	引き続き実施	大阪市、八尾 市、松原市、 柏原市、藤井 寺市、大和川 右岸水防事 務組合	6/6	6/6

主な取組項目	課題 の 整理 記号	目標時期	取組機関	協議会 立ち上 げ当初 (H28. 8)	H30. 7 月現在
・ 関係機関が連携した実働水防訓練の実施(水防資材の点検管理含む)	O P Q	引き続き実施	協議会全体	12/12	12/12
・ 浸水時においても災害対応を継続するための庁舎等施設の整備(自家発電装置等の耐水化など)	M	引き続き実施	八尾市、大阪府、近畿地整、大和川右岸水防事務組合	4/4	4/4
■ 水防活動支援のための情報公開、情報共有に関する事項 ・ 重要水防箇所の情報共有と関係市等との共同点検の実施	O	引き続き実施	大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、藤井寺市、大和川右岸水防事務組合、大阪府、大阪管区气象台、近畿地整	9/10	10/10
■ 防災気象情報の改善に関する事項 ・ メッシュ情報の充実(さまざまな地理情報との重ね合わせ 等)・利活用の促進 ・ 警報等における危険度を色分け表示(分かりやすい表示)	F	平成 29 年度	大阪管区气象台	0/1	1/1
		平成 29 年度	大阪管区气象台	0/1	1/1

主な取組項目	課題 の 整理 記号	目標時期	取組機関	協議会 立ち上 げ当初 (H28. 8)	H30. 7 月現在
■危機管理型ハード対策に関する事項 ・堤防天端の保護 ・裏法尻の補強	V	平成 32 年度 平成 32 年度	近畿地整	1/1 0/1	1/1 0/1

4) 「3. (回復) 氾濫による社会経済被害の軽減、早期回復を可能とする水害に強い都市の再構築のための取り組み

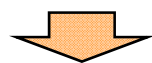
主な取組項目	課題 の 整理 記号	目標時期	取組機関	協議会 立ち上 げ当初 (H28. 8)	H30. 7 月現在
■排水活動及び施設運用の強化に関する取組事項 ・大規模水害を想定した既存排水施設等の活用方法及び排水ポンプ車の設置箇所等、排水に関する検討	T U	平成 29 年度 から実施	大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、藤井寺市、大阪府、近畿地整	0/9	0/9
・排水に関する訓練の実施	T	平成 30 年度 から実施	大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、藤井寺市、大阪府、近畿地整	0/9	0/9
・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	N	平成 29 年度	大阪市、堺市、八尾市、柏原市、藤井寺市、東大阪市	2/6	3/6

今後の減災協議会の開催スケジュール（予定）

今後の減災協議会及び幹事会の開催スケジュール（予定）

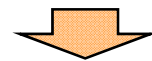
平成30年6月26日 第4回幹事会（6月26日開催）

- ・協議会に諮る内容の確認
- ・協議会の進捗状況の見える化
- ・審議事項について意見交換



平成30年7月30日 第4回協議会

- ・取組状況の確認等フォローアップ



毎年出水期前頃 幹事会・協議会

- ・フォローアップ

3) 話 題 提 供

雨量分布の予報を 15 時間先まで延長について

平成 30 年 6 月 14 日
予 報 部

雨量分布の予報を 15 時間先まで延長します

～夕方の時点で翌朝の雨量分布が把握可能に～

気象庁は、6 月 20 日 11 時から、降水短時間予報をこれまでの 6 時間先までから 15 時間先までに延長します。この情報は、気象庁ホームページの「今後の雨」ページよりご覧いただけます。

気象庁は、大雨による災害から早めに避難行動を取る際に役立てることができるよう、6 月 5 日に運用を開始した新しいスーパーコンピュータを利用して、降水短時間予報をこれまでの 6 時間先までから 15 時間先までに延長する改善を行います。

また、延長した降水短時間予報は、気象庁ホームページの「解析雨量・降水短時間予報」ページをリニューアルした「今後の雨（降水短時間予報）」ページで提供します。このページでは、既存の危険度分布や高解像度降水ナウキャストと同じように、パソコンやスマートフォンなどを用いてご覧になりたい地域を自由に拡大・縮小して確認できるようにするなどの改善を行います。

これらの改善により、日常生活では、朝出かける前に夜までの雨の予報を確認する、夜寝る前に翌日午前中の雨の予報を確認するという利用ができます。また、防災対応においては、台風等により夜間から明け方にかけて大雨が予想される場合に、大雨となる時間帯や場所の見込みを前日夕方時点で把握できるようになります。

提供開始日時等の詳細は以下のとおりです。

1. 提供開始日時

平成 30 年 6 月 20 日（水）11 時（予定）

2. 気象庁ホームページにおける掲載ページ

<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

※提供開始日時までは、上記ページに活用例等を掲載しています。

気象庁ホームページにおける表示の変更点や延長した雨量予測の活用例については、別紙をご覧ください。

問合せ先：予報部 予報課 橋口

電話 03-3212-8341（内線 3390） FAX 03-3211-8303

「解析雨量・降水短時間予報」ページを「**今後の雨（降水短時間予報）**」ページにリニューアルします。

提供開始日時：平成30年6月20日（水）11時（予定）

新しいページのURL：<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

パソコン・タブレット

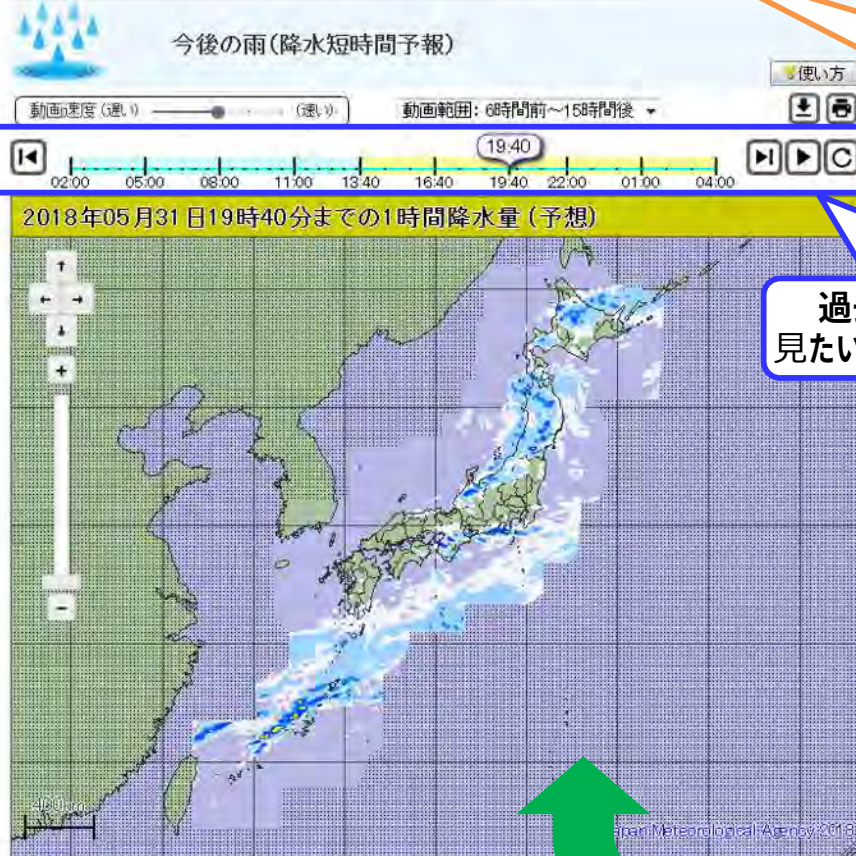
ホーム > 防災情報 > 今後の雨(降水短時間予報)



見たい地域に自由に移動し、
拡大や縮小もできるようになります

「高解像度降水ナウキャスト」や
「危険度分布」とコンテンツの
切り替えができるようになります

過去の実況から**15時間先の予報**まで
見たい時刻に自由に移動できるようになります



リニューアル!!

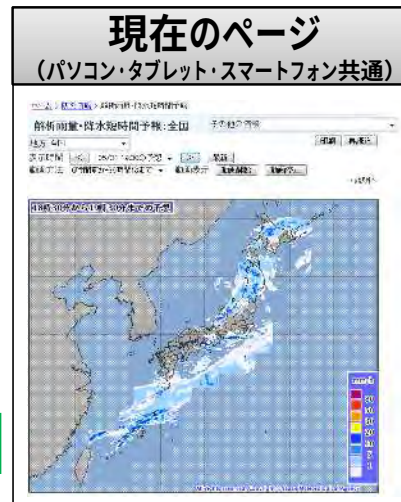
スマートフォン

スマートフォンでも
見やすくなります



位置情報取得機能により自分の
いる地域を自動で取得できます

リニューアル!!



15時間先までの予測の活用例

別紙

- 台風等により夜間から明け方にどこで大雨となる見込みかについて、前日夕方の時点で把握できるようになります。
- 特に、夕方に発表された注意報において、夜間から翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い旨に言及されている場合に、内閣府のガイドラインで必要とされている「避難準備・高齢者等避難開始」の発令や、高齢者等の避難開始の判断に活用が可能です。

翌日明け方までに
大雨警報（土砂災害）
に切り替える可能性が
高い注意報発表



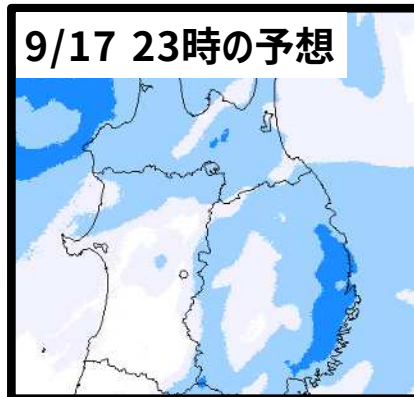
○●町		今後の推移（ ■ 警報級 ■ 注意報級）										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		17日				18日						
		15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	40	40	50	50	50	40					
	(浸水害)											浸水注意
	(土砂災害)											以後も警報級 土砂災害注意
洪水	(洪水害)											
雷												竜巻、ひょう

避難準備・高齢者等避難開始
発令の判断基準

提供開始前

雨の予報は23時までしか分からないわ…
大雨警報に切り替わる可能性が高いって
いうけど、明け方にはどこで降るのかしら？

9/17 23時の予想

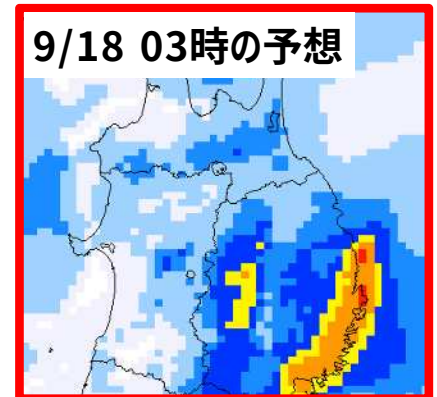


提供開始後

大雨警報に切り替わる明日の明け方
3時には大雨になりそうなのね…
土砂災害警戒区域に住んでいるから、
避難の準備をしなきゃ！

平成30年
6月20日
提供開始

9/18 03時の予想



「解析雨量・降水短時間予報」ページを「**今後の雨（降水短時間予報）**」ページにリニューアルします。

提供開始日時：平成30年6月20日（水）11時（予定）

新しいページのURL：<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

パソコン・タブレット

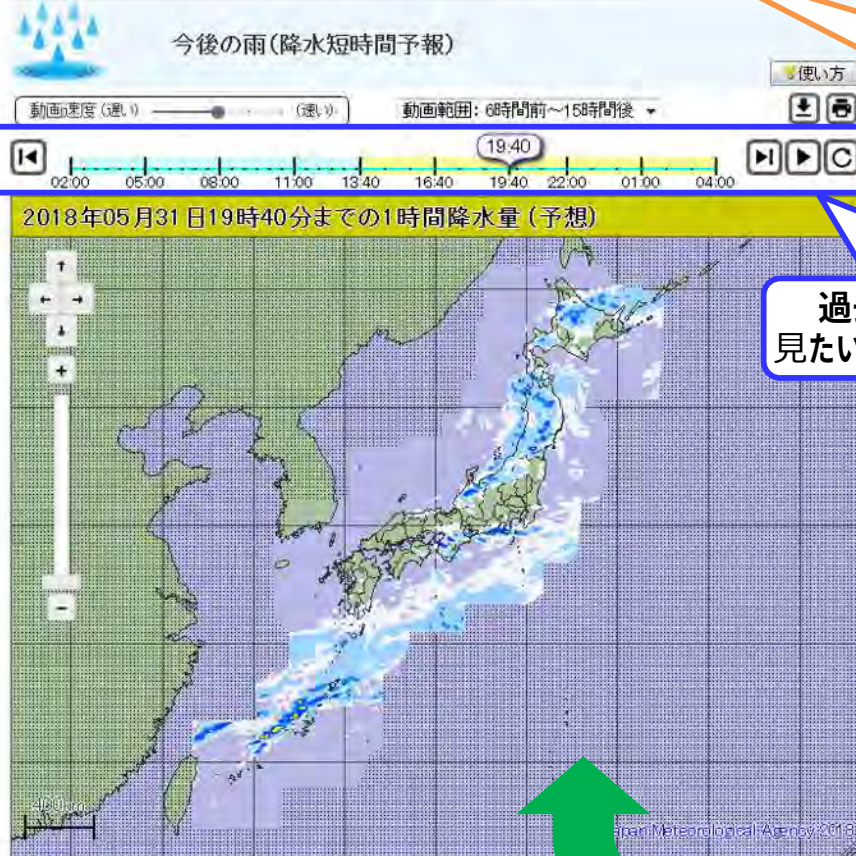
ホーム > 防災情報 > 今後の雨(降水短時間予報)



見たい地域に自由に移動し、
拡大や縮小もできるようになります

「高解像度降水ナウキャスト」や
「危険度分布」とコンテンツの
切り替えができるようになります

過去の実況から**15時間先の予報**まで
見たい時刻に自由に移動できるようになります



リニューアル!!

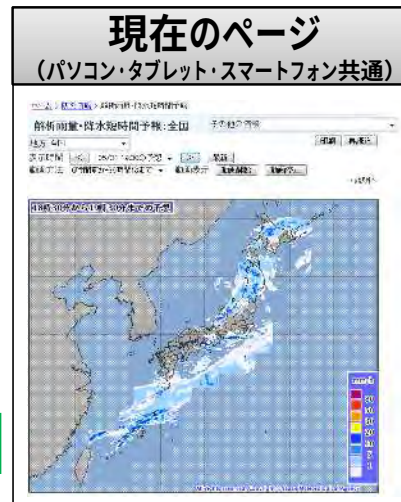
スマートフォン

スマートフォンでも
見やすくなります



位置情報取得機能により自分の
いる地域を自動で取得できます

リニューアル!!

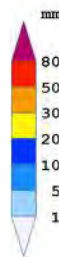


(参考) 15時間先までの予測例

別紙

平成29年(2017年)9月17日17時(日本標準時)の例

現在



17日17時時点で、23時までの降水量予報しか提供できておらず、強雨が予想されるか分からない。

今後

17日17時時点で、18日3時に強雨域がかかることを予想。

現在 17日17時(実況)

6時間先 17日23時

10時間先 18日3時

15時間先 18日8時

緑枠は従来の降水短時間予報

赤枠は今回延長する部分

実際の雨量分布
(解析雨量)

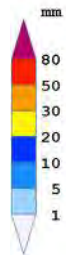
- 平成29年台風第18号の接近に伴い、18日明け方東北太平洋側に強雨域がかかることを、位置や強度のずれはありますが、17日夕方時点で予測しています(上図の青丸部分)。
- このように、例えば**夕方までに夜間から翌日の明け方における降水量の予測を提供できる**ようになります。

(参考) 15時間先までの予測例

別紙

平成29年（2017年）9月17日17時(日本標準時)の例

現在

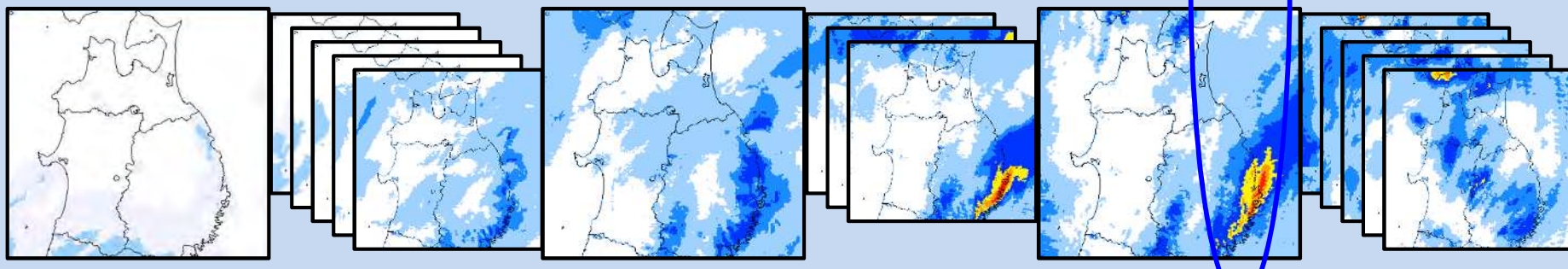


17日17時時点で、23時までの降水量予報しか提供できておらず、強雨が予想されるか分からない。

今後

17日17時時点で、18日3時に強雨域がかかることを予想。

実際の雨量分布
(解析雨量)



現在17日17時（実況）

6時間先17日23時

10時間先18日3時

15時間先
18日8時

緑枠は従来の降水短時間予報

赤枠は今回延長する部分

- 平成29年台風第18号の接近に伴い、18日明け方東北太平洋側に強雨域がかかることを、位置や強度のずれはありますが、17日夕方時点で予測しています(上図の青丸部分)。
- このように、例えば**夕方までに夜間から翌日の明け方における降水量の予測を提供できる**ようになります。